

# 大明教育 実践の評価

◆2学期の実践の評価を踏まえ、3学期の課題を明らかにする。

◆小中連携及び学校・家庭・地域の連携・協働の場を探る。

<評価方法について>

◇A-よい B-ふつう C-改善が必要 の3段階で評価

◇評価者の職種によっては評価できない項目もありますので、その場合は空欄にしないで斜め線を記入すること。

◇「気づいたこと」には、率直なご意見を記述してください。特にC評価については改善方法等を具体的に書くこと。

評価項目	評価		
	A	B	C
<b>1. 教育目標について</b>			
① 学校教育目標・具体的行動目標は適切だったか。「自ら考え 活動する 心豊かな子ども」(〇あいさつのできる〇きまりが守れる〇すすんで学習できる〇思いやりがもてる)	2 3	2	0
② 学校教育目標が学年学級経営や教科指導に具現化されているか。	2 2	3	0
③ 学校教育目標や具体的行動目標が児童や父母に理解されるよう配慮されているか。	1 8	7	0

(意見)

- ・コロナのせいなのか、あいさつができていない。教師が声をかけても無反応の児童が多い。
- ・5年生は、よくあいさつができています。担任二人が、毎朝笑顔でさわやかにあいさつしているところが子どもたちにも影響している。

(考察)

- ・学校教育目標・指導重点は適切で、それらが学年・学級経営や教科指導に具現化されていると考える教職員がほとんどである。
- ・学校教育目標や経営方針が児童・保護者に理解されるよう配慮されているという設問は、コロナの関係で本年度はB評価が多くなった。

(改善点)

- ・コロナ禍なので、学校教育目標や指導重点が保護者に理解されるように、学校便り、学年通信、ホームページ等で発信していく。

評価項目	評価		
	A	B	C
<b>2. 経営・組織</b>			
① 学校運営に関する連絡・調整はスムーズか。	2 4	1	0
② 職員会議は学校運営に適切に機能しているか。	2 4	1	0
③ 学年打ち合わせが十分できているか。	2 3	2	0
④ 研究主題は、学校課題に合った適切な内容であったか。	2 5	0	0

(意見)

- ・忙しい中だが、各管理場所の修繕の予算化を適切に行っていきたい。金額の大きいものを安全点検で出されても困ります。

- ・職員室で先生たちが、子どものことや授業・行事のことを話している様子がよく見られる。
- ・コロナ禍の学校の対応について、教頭先生や佐久間先生が危機意識をもって話してくださっているので、やはり決められた役割はそれぞれが責任をもち、果たすべきだと思う。
- ・個人差はあるが、できるだけ早く退勤しようという職場の雰囲気が良いと思う。
- ・公開研究会を終えたが、今後も継続して研究への取り組みを行い、年間を通しての成果・課題を明らかにしていきたい。
- ・校内研三年目ということで、研究主任をはじめ、先生方が一丸となって公開をやり遂げたことは大きな成果であると思います。
- ・職員会議の資料が電子化されるといいなと感じます。(子どもたちの一人一台タブレットに合わせるわけではないですが・・・。)
- ・終礼連絡が PC 上で共有できるのは、とても良い方法だと思います。市内他校にも広めてほしいと思います。
- ・4年生の授業を見て、あんなに生き生きと対話できていて素晴らしいと感じた。

(考察)

- ・学校運営に関しての連絡・調整や職員会議については、スムーズで適切に機能していると考える教職員が多い。
- ・研究主題は、本校の課題に適切なものであると考えている教職員が多い。全教職員が共通意識をもって、日々積み重ねて取り組んでいくことが大事である。

(改善点)

- ・職員会議資料を電子媒体にすると良い面もあるが、次年度の引き継ぎ資料としては、紙媒体も必要である。

評価項目	評価		
	A	B	C
<b>3. 教育課程 (1) 全般</b>			
① 教育課程に本校の特色は生かされているか。	20	5	0
<b>(2) 各教科・総合的な学習の時間</b>			
② 教科指導は、教材研究・事前の準備等を行い、わかる・楽しい授業に心がけたか。	21	2	0
③ 創意工夫のある授業実践を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育てることができたか。	17	5	0
④ 各教科の授業時数は確保できているか。	13	7	0
<b>(3) 道徳</b>			
⑤ 教科や他領域との関連に考慮がはらわれているか。	15	4	0
⑥ 道徳的実践・道徳性などが高められていると思うか。	10	10	0
<b>(4) 特別活動(学級活動・児童会活動)</b>			
⑦ 学級活動は、自主的・自発的に運営されたか	12	9	0
⑧ 児童会活動は、自主的・自発的に運営されたか。	19	4	0
<b>(5) 学校行事</b>			
⑨ 学校行事は適切に計画的に実施されているか。	21	4	0
⑩ 学校行事は、学校生活に活力を与えるよう計画運営されているか。	21	4	0

(意見)

- ・今後も行事や会議等を精選していきたい。
- ・コロナ禍なので、学校行事については評価が難しいと思いました。

(考察)

- ・コロナの関係で、学校行事は適切に計画・運営されているかどうか判断ができない教職員が多かった。
- ・教科指導については、事前の教材研究・事前準備を行い、分かる・楽しい授業を心がけ授業を行っているので、児童の自ら学ぶ意欲や態度が育ったかについては評価が上がってきている。
- ・授業時数の確保については、評価が低いですが、前期に比べ上がってきている。
- ・道徳については、道徳的実践・道徳性などが高められているとおもつかの評価は、前期に比べ低くなっている。
- ・特別活動の学級活動は、自主的・自発的な運営にやや課題があるが、児童会活動は、自主的・自発的な活動になっていると考えられる。
- ・コロナ禍の中、学校行事については、やれる範囲で適切に計画・運営されていると考えられる。

(改善点)

- ・特別の教科 道徳は、引き続き「考え、議論する道徳」に向けた授業づくりを進めていく。また、道徳と他の教科・領域の関連を意識して、計画的に行い、児童の道徳性を高めていく。
- ・評価が低かった自ら学ぶ意欲と態度を育てることについては、学校全体で話し合い、さらなる創意工夫を行っていく。
- ・特別活動については、コロナに気をつけながらできる範囲で、引き続き児童が自発的に運営できる場面を増やしていく。

評 価 項 目	評 価		
	A	B	C
<b>4. 学級経営・生徒指導</b>			
① 児童との心のふれあいを深め、豊かな人間関係を築く学級づくりに取り組めたか。	2 0	1	0
② 職員が共通理解をもち生徒指導を推進しているか。	2 5	0	0
③ 支援委員会を中心とした支援は適切に行われたか。	2 4	1	0

(意見)

- ・特別支援の先生方が適切にサポートしてくださり、本当にありがとうございます。校長先生や教頭先生がすぐにヘルプに入り、大変な児童をみてくださり、ありがとうございます。「ヘルプを出しやすい」雰囲気にとっても助けられています。
- ・コーディネーターやスクールカウンセラーにより、心意的に救われた子が多かった。

(考察)

- ・どの項目もほぼA評価である。生徒指導上の問題については、共通理解が図れるように情報交換を常に行っている。また、支援が必要な児童に対してもコーディネーターを中心に適切な支援が行われている。

(改善策)

- ・気になる子への対応は担任だけでなく、学校全体による「チーム」で対応していく。さらに情報交換を密にとり、全職員が主体的に関われる体制をつくっていく。また、必要に応じて外部機関に入ってもらおうよう要請する。

評価項目	評価		
	A	B	C
<b>5. 家庭・地域社会との連携</b>			
① 授業参観・懇談会は適切だったか。(回数・内容・出席率)	12	9	0
② P T A 活動は目標達成のため計画的に展開されているか。	10	12	0
③ 児童の登下校時において安全が確保されているか。	12	11	0
④ 学校応援団を有効に活用できたか。	12	10	1

(意見)

- ・コロナ禍の難しい状況の中、工夫してできることを取り組めた。
- ・今年はコロナがあり、普段より限られた中での連携でしたが、効果のある内容を毎回、職員が一丸となって取り組めた。
- ・今年はコロナのため、保護者との関係が紙面のみが多かったので、来年度は通常に戻ると良いと思います。
- ・授業参観は、コロナ禍においては適切な回数であった。
- ・登下校時の見守りボランティアがとてもありがたかった。集団登校でバラバラになる、二列になる等の保護者からのクレームが何度かあったのでそのたび様子を見に行った。子どもたちの意識が高まるよう指導していきたい。
- ・授業参観などコロナ禍で削れる部分は削れていたと思います。

(考察)

- ・授業参観や懇談会、P T A 活動は適切であったかは、本年度はあまりにも回数が少なく、B 評価が多い。
- ・児童の集団登下校については、課題があると考えられる
- ・学校応援団の活用については、有効に活用できたと考えている教職員が昨年度より減っている。

(改善点)

- ・行事(授業参観等含む)については、コロナとの関連を考慮して、共通理解したうえで検討実施していく。
- ・集団登校指導・下校指導をさらに徹底し、細かい所まで配慮できるようにする。
- ・学校応援団については、引き続き協力者を増やしていく。

評価項目	評価		
	A	B	C
<b>6. その他</b>			
① 子どもたちは、あいさつができていたか。	4	20	1
② 給食中のすごし方やマナーに問題はないか。	15	8	0
③ 清掃指導にしっかり取り組めたか。	16	8	0
④ 読書意欲を高めるような指導ができていたか。	20	4	0
⑤ 保健指導がしっかりできていたか。	21	4	0

(意見)

- ・コロナの中で保健指導がよくできていた。
- ・あいさつカードを子どもたちが意欲的に取り組んでいて、朝あいさつをしてくれる人が増えた。
- ・朝のあいさつがもう少し、しっかりできるとよい。こちらから「おはよう」と言っても一部の子しか返事がない。

- ・コロナ禍で給食指導や保健指導は子どもたちも納得していたように感じる。
- ・児童会の取組でよくなったが、全員がお客さんが来たとき等イレギュラーなときは、まだまだだと感じる。

(考察)

- ・あいさつは、B評価がほとんどである。あいさつが課題と考える教職員が多い。
- ・給食中の過ごし方やマナー、清掃指導については前期とほぼ同じ評価である。
- ・読書に関しては、前期に比べかなり向上している。
- ・保健指導は、全教職員共通理解を持ち、確実にやっている。

(改善点)

- ・いつでもあいさつができるように、全校で計画的に家庭・地域も巻き込む中で指導を行っていく。
- ・食事のマナーの向上を重点的に取り組めるよう計画・実行していく。
- ・清掃について、子どものがんばりを認め励ます働きかけを全校的に行う。